


持続可能なアジアに向けた大学における 環境人材育成ビジョン

環境省
環境教育推進室係長
白石賢司

平成19年12月22日 HESDフォーラム2007
「大学教育への挑戦—環境教育からESDへ」
於 岩手大学工学部コラボMIU



急速に発展するアジアにおける持続可能性の危機

**急速な発展を
遂げるアジア**

経済成長
ライフスタイルの変化
人口増加

急速な環境負荷増大のおそれ

地球温暖化
公害・健康被害の発生
資源・食糧・水需要の拡大
廃棄物発生量の増加・質の変化
森林の消失
生物多様性の減少 等

大きな社会・経済面の被害/地球規模の持続可能性への影響

今、そこにある危機を乗り越え、さらに「持続可能なアジア」を実現するために、「人づくり」の観点から、何をすべきか？

持続可能なアジアに向けて必要な人材育成

- 持続可能なアジアの実現には、一部の分野だけでなく、あらゆる分野（業界、職種等）で、企業活動等の経済社会システムのグリーン化に取り組む人材（環境人材）が不可欠
- 一方、企業等においても、温暖化対策、希少資源の枯渇、国際的な環境規制等の環境面でのリスクに対応するため企業活動をグリーン化できる環境人材が求められている
- 大学は、各人の幅広い教養及び専門性を習得させる場であり、卒業後の職業や仕事の方向性に大きな影響を与えるなど、環境人材育成の中心的機能を果たしうるもの。

持続可能な社会づくりに取り組む人材育成に向けた動き

国際的な動き（国連ESDの10年（2005～2014））
日本政府がヨハネスブルグサミットにおいて提案し、第57回国連総会で決定。2006年「わが国における国連ESDの10年実施計画」を策定。
ESD：持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）の略。持続可能な社会づくりに参画する個人を育むことを目指す。
「高等教育機関における取組」は同計画の初期段階の重点的取組事項

2つの関連決定
国際的に持続可能な社会づくりに取り組む人材育成を重点分野に指定
21世紀環境立国戦略「アジアの環境リーダー育成イニシアティブの展開」
イノベーション25「世界の環境リーダー育成」

平成19年5月に関係省庁連絡会議を立ち上げ、具体化に向けた検討を開始

世界の環境リーダー育成イニシアティブ（平成20年度の取組み）

内閣府、環境省、文科省、経産省等が連携して環境リーダーを育成

- 1. 大学・大学院での環境リーダー育成プログラム**
環境管理に必要な制度及び技術の体系的な理解や、高度な環境技術の習得などを主な目的とした、総合的人材育成プログラムの実施。
(平成20年度の取組み)
○国際環境リーダー育成大学院(International Environmental Leaders Graduate School (IELGS)ネットワークの構築
○持続可能な開発のための教育(ESD)を担うアジア高等教育機関人材育成事業
・アジア規模で活躍する環境リーダー育成支援
・一般学生への環境教育プログラム開発/実施
- 2. 短期研修プログラムの実施**
- 3. 官民連携環境人材育成コンソーシアムの設置**
育成プログラムの開発の促進や育成プログラム等に係る情報集約/発信の機能を有する官民連携による人材育成プラットフォームを設置

アジア環境人材育成イニシアティブ展開のイメージ

「持続可能なアジアに向けた大学における環境人材育成ビジョン」策定 (H19)
○ 9月中旬取りまとめ、年度内最終とりまとめを公表
○ 基礎調査、制度設計、試行事業を実施

策定したビジョンを踏まえ、関係省庁・国際機関等と連携して事業を展開

官民連携による環境人材育成（H20～）

企業
NPO
自治体、省庁（事務局）
大学等

マッチング

官民連携コンソーシアム

インターン・実習先提供
講師派遣
コース共同開発 等

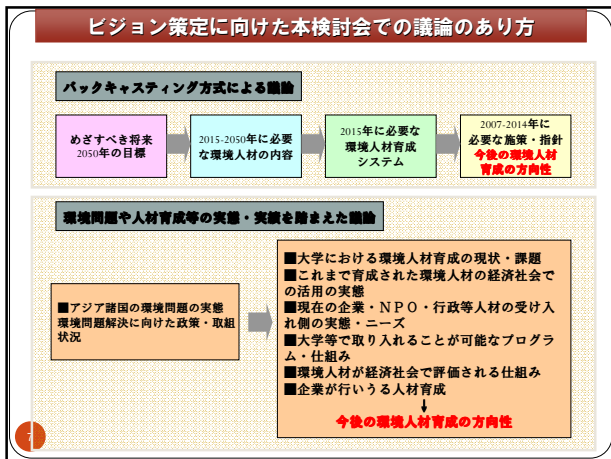
大環
学
院
系

全学
部

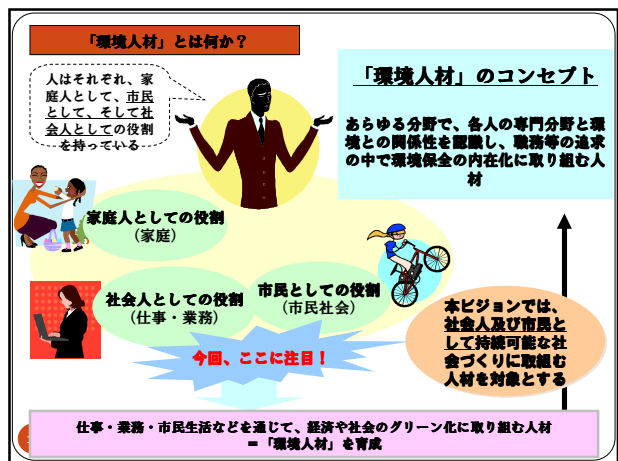
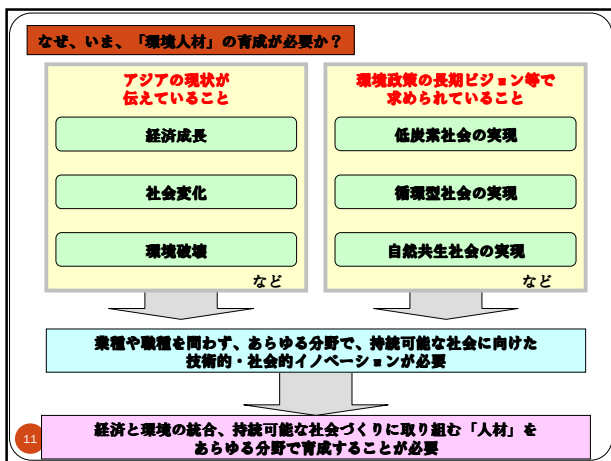
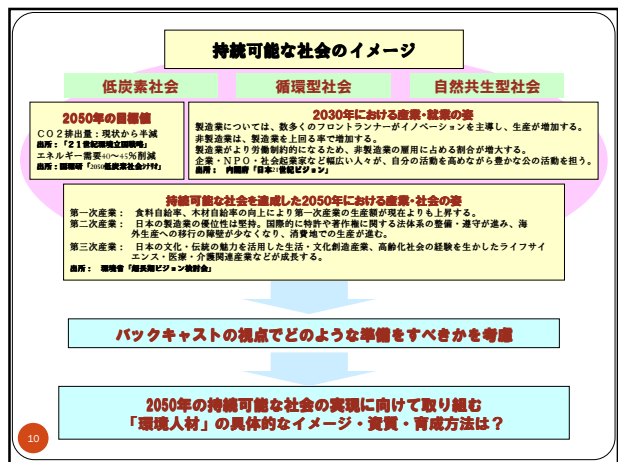
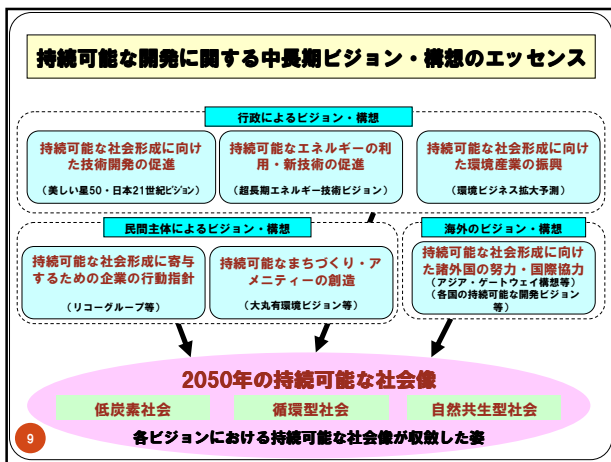
アジア規模で国際的に活躍する環境リーダー育成支援（国連大と連携）
アジア環境大学院ネットワークでの環境リーダー（環境技術者、環境政策立案者等）育成支援

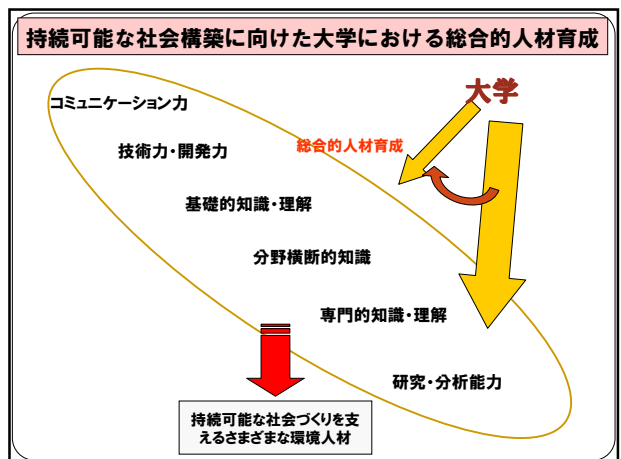
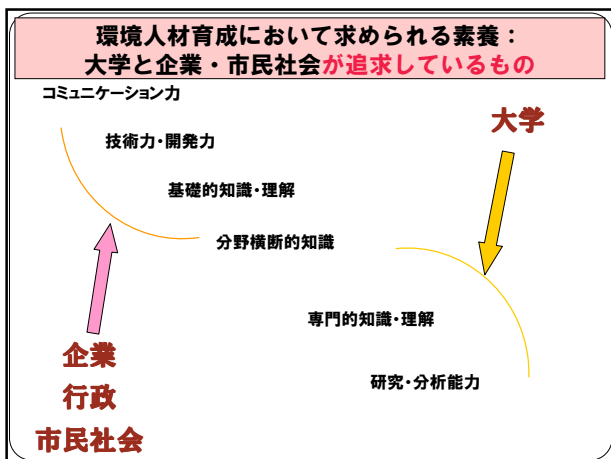
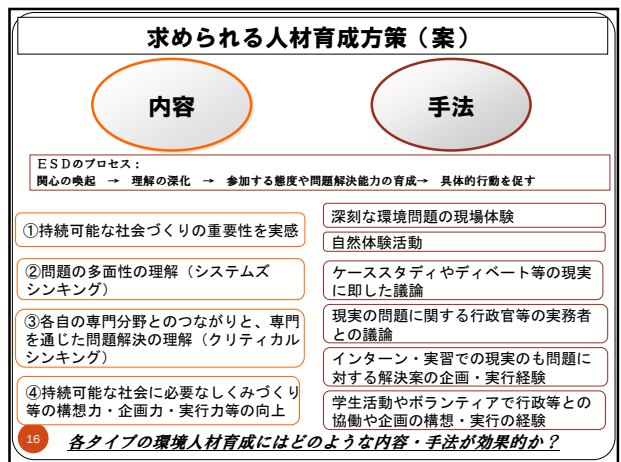
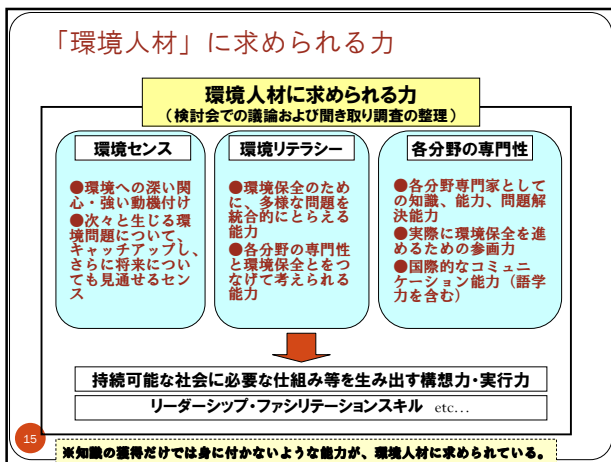
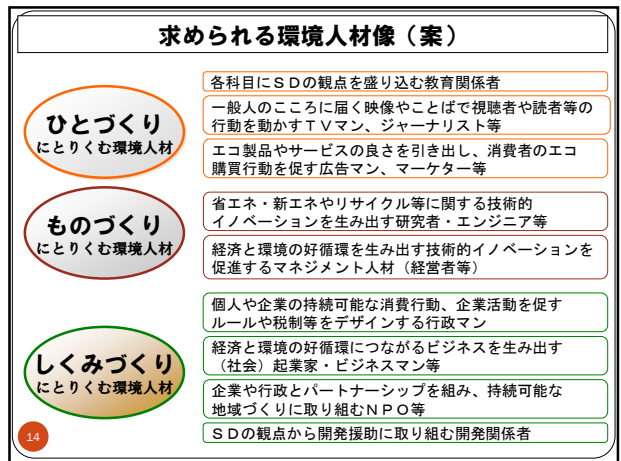
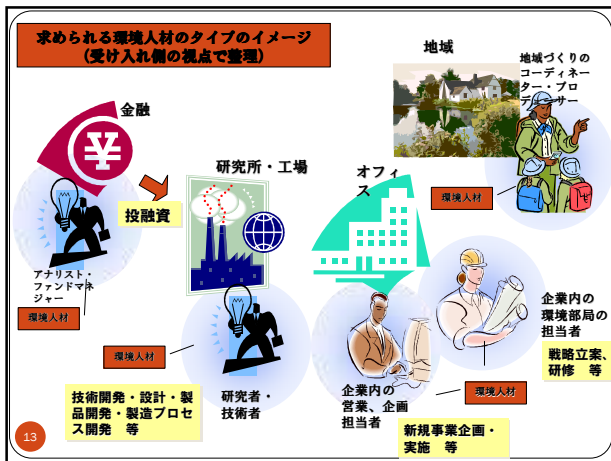
各分野で活躍する環境人材育成
・一般学生に対する環境教育プログラム開発/実施
・学生団体の環境活動を通じた人づくりの活性化
・持続可能な地域づくりコーディネーター育成 等

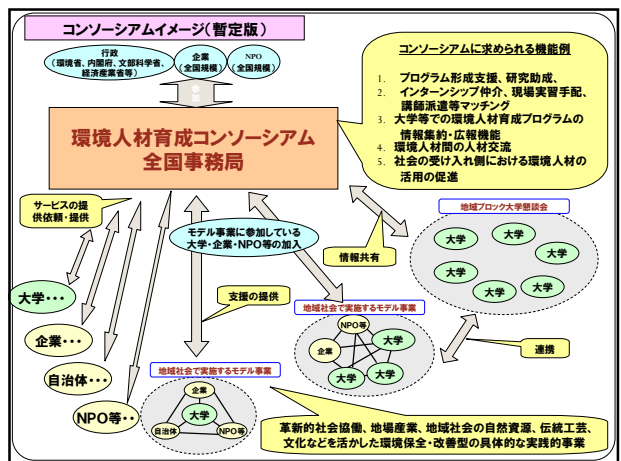
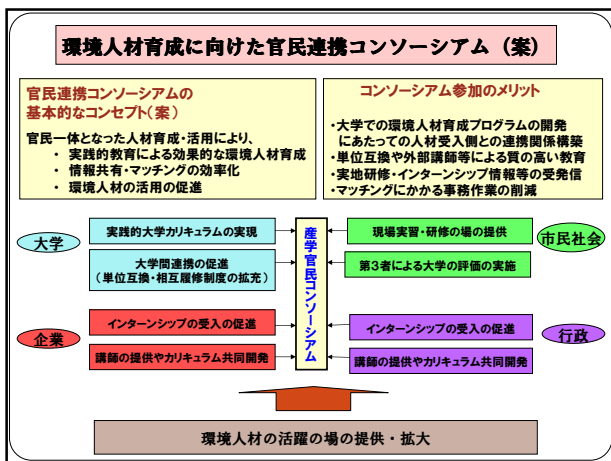
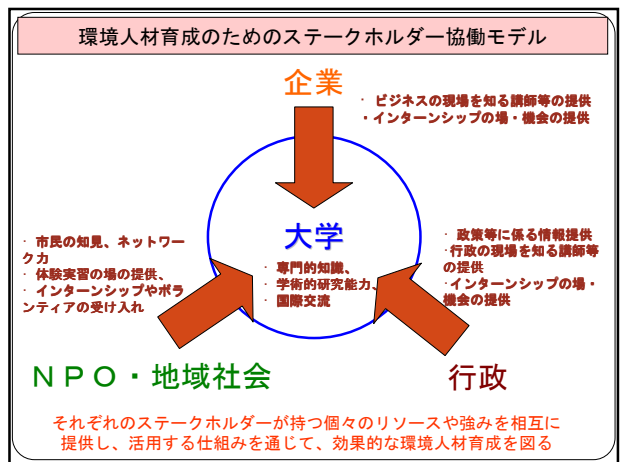
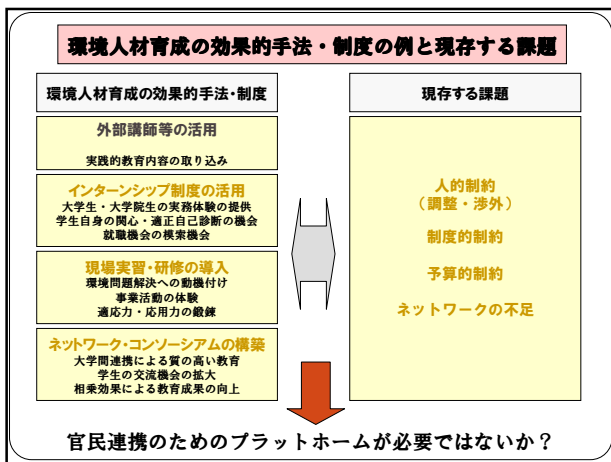
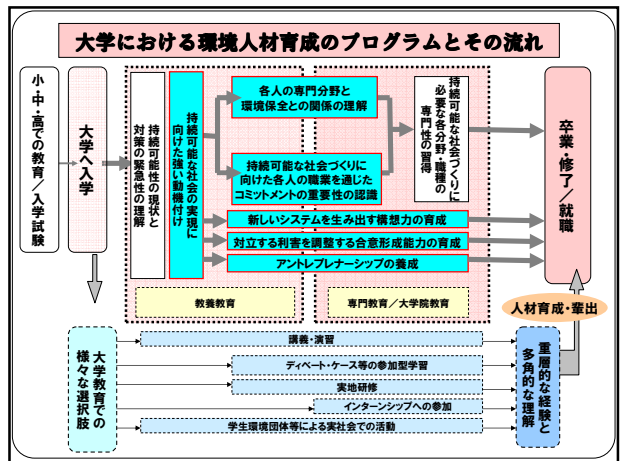
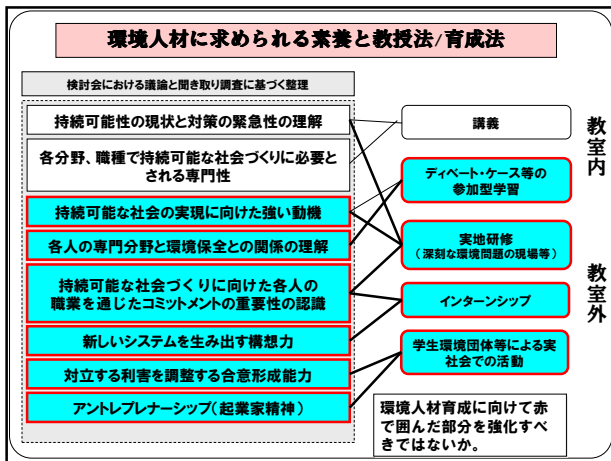
アジア全体
日本からアジアへ発信

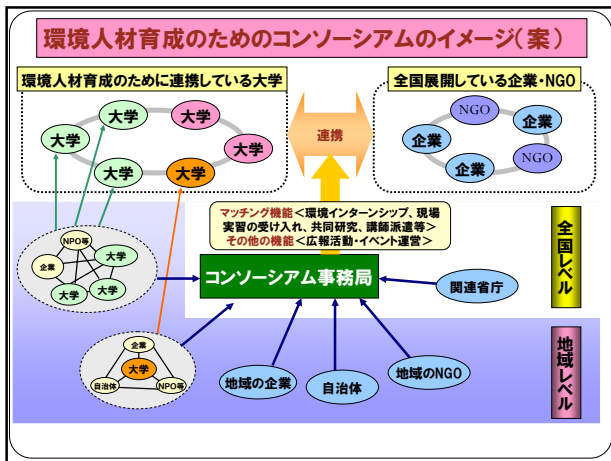


- ### アジア環境人材育成ビジョンの目指すもの
- ① 持続可能なアジアに向けて重点的に育成すべき環境人材像の明確化
 - ・ 超長期ビジョンや美しい星⁵⁰等で求められる社会像
 - ・ 求められる環境人材像
 - ② 大学における環境人材育成の現状と、目指すべき人材育成の仕組み・現状の社会の受入状況
 - ③ 現状の課題を解決し、環境人材の育成を促す施策や仕組みの検討
 - ・ 企業・NPO等の社会的ニーズの掘り起こし
 - ・ 産学官連携の環境人材育成コンソーシアムの立ち上げ及びコンソーシアムを通じたプログラム共同開発、講師派遣、環境人材の資格検討、環境人材受け入れ先の創出等
 - ・ アジアの大学間連携体制の構築 等
 - ④ 環境人材育成の仕組みづくりに向けた政府の支援施策と2014年までのロードマップの作成（以下の項目を中心に）
 - ・ アジアの大学連携を通じた環境リーダーの育成イニシアティブ
 - ・ 各専門分野に対応した環境人材育成イニシアティブ
 - ・ 環境人材の社会への受け入れを促す仕組みづくり 等









今後の予定	
H19年度	<p>2月頃 大学・大学院におけるESDモデル事業募集（予定） ESDのコンテンツ・コンソーシアムに関するWS @ 東京等</p> <p>3月「持続可能なアジアに向けた大学における環境人材育成ビジョン」 発表（シンポ開催 @ 東京）</p>
H20年度	<p>4月 大学・大学院におけるESDモデル事業開始（2カ年）</p> <p>6月末 北海道大学・国連大学共催シンポ @ 北海道大学 アジア環境大学院ネットワーク（ProSPER.Net）正式立ち上げ</p> <p>後半 産官学連携環境人材育成コンソーシアム立ち上げ（予定）</p>

ご静聴どうもありがとうございました

- ご質問、コメント等をお願いします。
- そのほか、環境人材育成に関する国内外の情報をお寄せください。
- お配りした論点整理案に対するご意見は、以下のメールアドレスまで。
 - kenji_shiraiishi@env.go.jp

